

主催：日本オリエント学会
同志社大学 一神教学際研究センター (CISMOR)
共催：同志社大学 神学部・神学研究科

公開講演会
『ヘブライ語聖書』に反映する
一神崇拝の展開

The Development of Monolatry Reflected
in the Hebrew Bible



【講師】長谷川 修一 立教大学文学部准教授
Dr. Shuichi Hasegawa, Associate Professor, Rikkyo University

ユダヤ教・キリスト教は一般に、唯一神教の宗教であると考えられている。しかるに、これらの宗教が聖典とする『ヘブライ語聖書』を繙くと、そこで描かれる神の概念と「唯一神教」という単語によって連想する神のイメージとが時として不協和音を奏でることに気づかされる。本講演では、神について述べている箇所を『ヘブライ語聖書』から複数抽出し、そこで示されている神についての多様な概念を確認しながら、「古代イスラエル」において展開した一神崇拝とその歴史的背景を追う。

日時：2018年3月10日(土) 13:00 ~ 15:00
会場：同志社大学今出川キャンパス 神学館チャペル
京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車3番出口徒歩3分

お問い合わせ
同志社大学 一神教学際研究センター 〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入
TEL: 075-251-3726 E-mail: rc-issin@mail.doshisha.ac.jp

入場無料/ 事前申込不要